

信州大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科に  
再発乳がんの治療を受けている方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年1月8日

「希少転移乳がんの局所及び全身療法に関する国際共同後向きコホート研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4254
研究課題名	希少転移乳がんの局所及び全身療法に関する国際共同後向きコホート研究
所属(診療科等)	乳腺内分泌外科
研究責任者(職名)	伊藤 研一(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年6月30日
研究の意義、目的	治癒の可能性がある再発乳がんを検討すべく、希少転移乳がんの方を対象に局所療法と全身療法を加えることで生命予後が改善させるかどうかを検討する研究です。
対象となる患者さん	①2005年から2012年までに再発乳がんとして初めて診断された方②再発時に脳転移を除く5か所以下の転移巣を認めた方③全身療法、あるいは局所療法と全身療法を受けられた方
利用する診療記録／検体	初発時年齢、生年月日。希少転移診断時、診断日、ECOG, P.S, 診断までの時間、診断までの時間、診断法
他機関への試料・情報の提供方法	特定のオンラインデータ収集システム(ECDシステム)に入力して提供します
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、分析し、希少転移乳がんへの最適な治療法を検討します。
共同研究機関名	杏林大学医学部附属病院 乳腺外科(責任者:井本滋)、岐阜大学医学部附属病院先端医療・臨床研究推進センター
研究代表者	主任施設の名称:杏林大学医学部附属病院 乳腺外科 研究責任者:井本 滋
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 井本 滋(杏林大学医学部附属病院乳腺外科:教授) 電話:+81-422-475511

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。